

令和３年度 岩出市学力調査の結果の概要

調 査 の 概 要

- 1 調査日 令和３年５月２７日（木）
- 2 調査の目的
市内小中学生の学力や学習状況を早い段階から継続して把握・分析し、また、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に資する。
さらに、学習状況を個人に返すことで、学校及び家庭との連携を図り、児童生徒の学力向上に活かす。
- 3 調査対象 小学校３年、４年、５年、中学校１年、２年
※小学校６年及び中学校３年は、全国学力・学習状況調査で実施した。
- 4 調査内容 教科調査 小学校：国語、算数 中学校：国語、数学

全 国・・・業者テストを採用した児童・生徒の平均値

正答率・・・対象となる設問におけるその集団の正答率の平均値

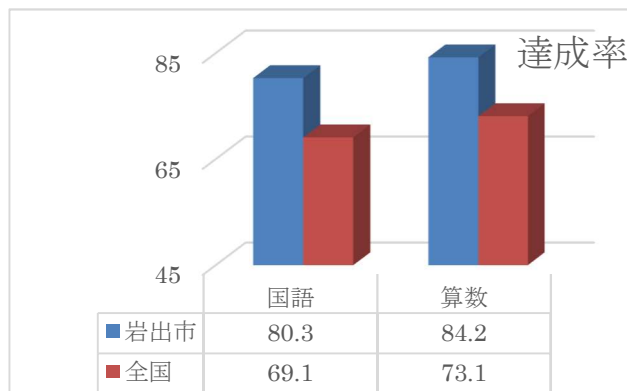
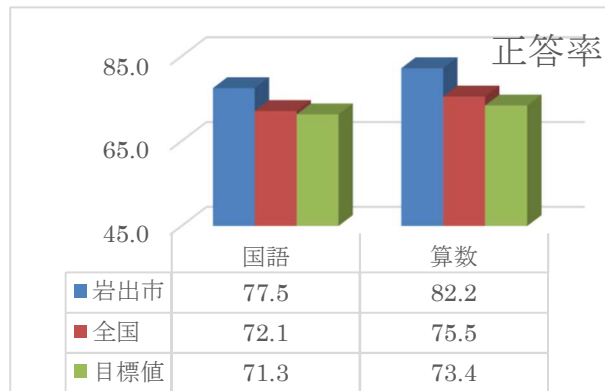
目標値・・・学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合、設問ごとに正答できることを期待した児童・生徒の割合を示したもの

達成率・・・目標値と同程度以上の正答率であった児童・生徒の割合

教 科 調 査

※○…説明事項 □…「できている」と考えられるもの ■…「課題がある」と考えられるもの

<小学校３年生>



【全体】

○市全体の平均正答率は、「国語」「算数」とも目標値・全国正答率を上回っている。

○達成率では、「国語」は８０．３％、「算数」は８４．２％の児童が目標値を達成しており、全国値を大きく上回っている。

○正答率度数分布では、「国語」「算数」とも正答率は上位層に厚い分布となっている。

【国語】

□「話を聞き取る」「漢字を読む」「漢字を書く」「言葉の学習」「文章を書く」の内容では、ほとんどの問題で全国正答率を上回り、目標値を大きく上回っている。

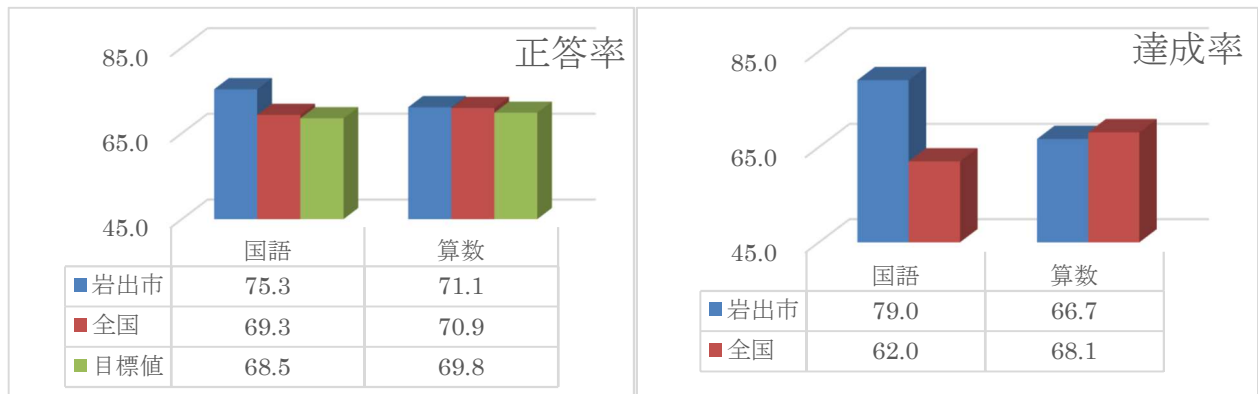
■「説明文を読み取る」の『情報と情報との関係について理解し、文章の中の重要な話を考えて選び出す』問題及び「折り紙の折り方を説明する」の『情報と情報との関係について理解し、相手に伝わるように事柄の順序を考えて話す』問題は、全国正答率を上回っているが、目標値は下回り課題がある。

【算数】

□出題された全ての問題で、目標値・全国正答率と同程度若しくは大きく上回っている。特に、記述問題の

正答率が全国正答率と比較して非常に高い。

<小学校 4 年生>



【全体】

- 市全体の平均正答率は、「国語」「算数」とともに目標値・全国正答率を上回っている。
- 達成率は、「国語」で 79.0 % の児童が目標値を達成しており、全国値を大きく上回っている。
- 「算数」は 66.7 % の児童が目標値を達成しており、全国値とほぼ同程度である。
- 正答率度数分布では、「国語」の正答率は上位層に厚い分布になっている。「算数」の正答率は、中位・上位層へのバラつき傾向がある。

【国語】

□「話し合いの内容を聞き取る」「漢字を読む」「漢字を書く」「言葉の学習」「物語の内容を読み取る」「文章を書く」の内容では、ほとんどの問題で目標値・全国正答率を大きく上回っている。特に、記述問題の平均正答率が全国と比較して非常に高い。

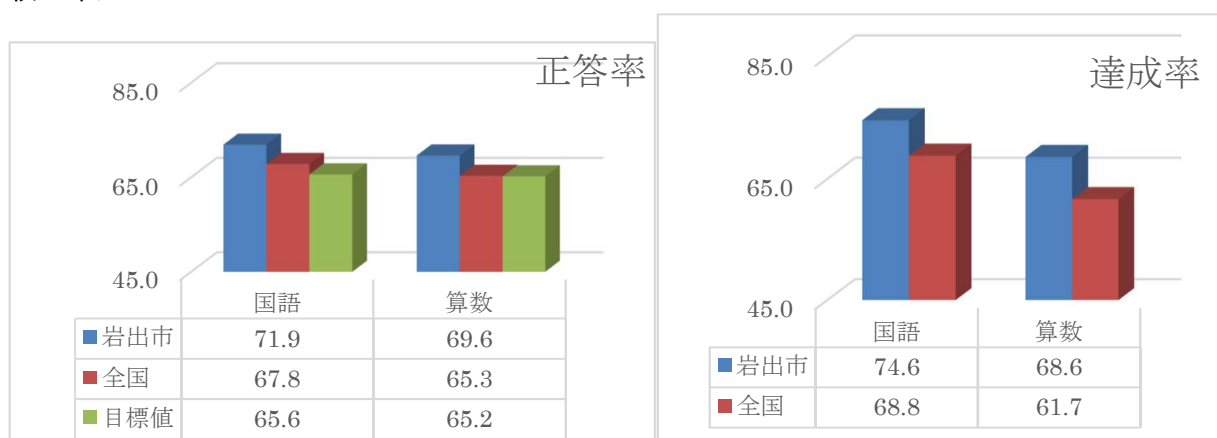
■「調べたことを文章にまとめる」の『目的を意識し集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にする』問題は、目標値を大きく下回り、正答率も低く課題がある。

【算数】

□「円と球・三角形」「かけ算」「表と棒グラフ」「時刻と時間」「わり算」の内容では、ほとんどの問題で目標値・全国正答率を上回っている。特に、記述問題の正答率が全国と比較して非常に高い。

■「長さ・重さ」の『単位の前にkがつくと、もとの単位の 1000 倍になることを説明する』問題は、目標値・全国正答率を大きく下回り、正答率も低く課題がある。

<小学校 5 年>



【全体】

- 市全体の平均正答率は、「国語」「算数」とともに目標値・全国正答率を上回っている。
- 達成率では、「国語」は 74.6 %、「算数」は 68.6 % の児童が目標値を達成しており、全国値を上回っている。
- 正答率度数分布では、「国語」「算数」とも正答率は、上位・中位・下位層へのバラつきがみられる傾向に

ある。

【国語】

□「物語の内容を読み取る」「かるたの読み札について話し合う」「文章を書く」の内容では、ほとんどの問題で目標値・全国正答率を大きく上回っている。特に、記述問題の平均正答率が全国と比較して非常に高い。

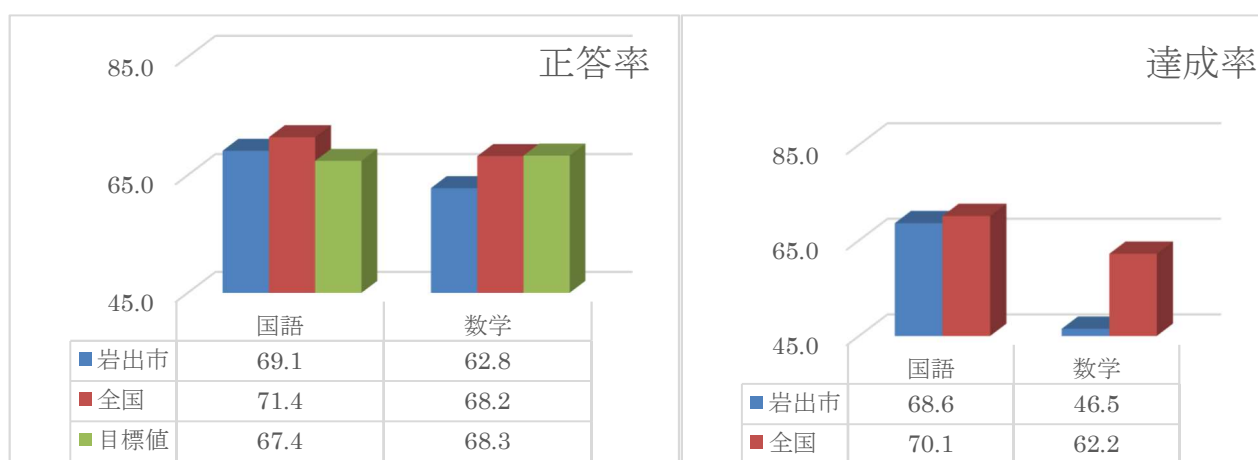
■「漢字を書く」の『第4学年に担当されている漢字を正しく書く』問題は、目標値・全国正答率とも大きく下回り課題がある。

【算数】

□「億と兆・概数の表し方」「分数」「小数」「簡単な場合についての割合」「わり算・計算のきまり」「角の大きさ」「面積」「いろいろな形」「変わり方調べ」「折れ線グラフと表」の内容では、ほとんどの問題で目標値・全国正答率を上回っている。特に、記述問題の正答率が全国と比較して非常に高い。

■「簡単な場合についての割合」の『数量の関係を割合を使って説明する』問題は、目標値・全国正答率を大きく下回り課題がある。

<中学校1年生>



【全体】

○市全体の平均正答率では、「国語」は、目標値・全国正答率とほぼ同程度であり、「数学」は、目標値・全国正答率を下回っている。

○達成率では、「国語」は68.6%の生徒が目標値を達成しており、全国値とほぼ同程度である。「数学」は46.5%の生徒が目標値を達成しているが全国値を大きく下回っている。

○正答率度数分布では、「国語」は正答率が中位・下位層に厚く分布しており上位層が少ない。「数学」は、その正答率は上位・中位・下位層、各層に広がり分散している。

【国語】

□「作文」の内容の『段落の役割について理解し、3段落構成で文章を書く』問題は、目標値・全国正答率を上回っている。

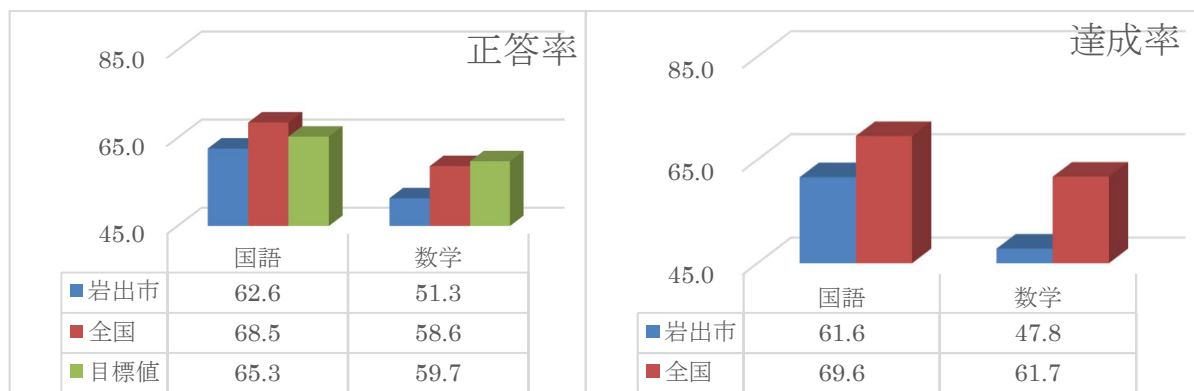
■「文法・語句に関する知識」「説明文の内容を読み取る」「文学作品の内容を読み取る」の内容は、目標値・全国正答率を下回っている。特に、「文法・語句に関する知識」の『連用修飾語について理解している』問題及び「説明文の内容を読み取る」の『叙述を基に文章の内容を捉える』問題は正答率が低く課題がある。

【数学】

□「小数・分数の計算」の内容の基礎問題では、目標値・全国正答率とほぼ同程度である。

■「文字と式」「面積と体積」「平面図形」「単位量あたりの大きさ」「百分率」「比と比例・反比例」「平均・場合の数」「いろいろなグラフの読み取り」「資料の活用」の内容では、大部分の問題で目標値・全国正答率を大きく下回っている。特に、「単位量あたりの大きさ」「いろいろなグラフの読み取り」の内容の正答率は低く大きな課題がある。

<中学校 2 年生>



【全体】

- 市全体の平均正答率は、「国語」「数学」とともに目標値・全国正答率を下回っている。
- 達成率では、「国語」は61.6%の生徒が目標値を達成しているが全国値を下回っている。
- 「数学」は47.8%の生徒が目標値を達成しているが、全国値を非常に大きく下回っている。
- 正答率度数分布では、「国語」の正答率は上位・中位・下位層、各層へのバラつき傾向がある。
- 「数学」の正答率は、上位・中位・下位層、各層に広がり分散している。

【国語】

- 「作文」の内容では、ほとんどの問題で目標値・全国正答率ともにほぼ同程度である。
- 「話し合いの内容を聞き取る」「漢字を読む」「漢字を書く」「文法・語句に関する知識」「説明文の内容を読み取る」「文学作品の内容を読み取る」「食品ロスについてレポートを書く」の内容では、大部分の問題で、目標値・全国正答率を下回っている。特に、「食品ロスについてレポートを書く」の『伝えたい事実や事柄について自分の考えを明確にして書く』問題は、無解答率が高く、正答率は低く大きな課題がある。

【数学】

- 「文字式」の内容の『1次式の減法』の問題の正答率は、目標値・全国正答率を大きく上回っている。
- 「1次方程式」「比例・反比例」「平面図形」「空間図形」「資料の散らばりと代表値」「文字式」(記述)の内容では、大部分の問題で目標値・全国正答率を大きく下回っている。特に、「平面図形」の『垂線の性質を理解し三角形の高さを表す線分を作図する』、問題及び「文字式」の『十字の形の模様をn個つくるのに必要なタイルの枚数を、示された式で求めることができる理由を数学的に説明する』問題は、目標値・全国正答率との差が大きく、正答率も低く大きな課題がある。